

FIDATA HFAS1-S10 の活用(26)

—ファームウェアと fidata Music アプリのバージョンアップ(4)—

1. はじめに

前報(25)に引き続き、ファームウェアと fidata Music アプリのバージョンアップの確認を行います。

2. ファームウェアと fidata Music アプリのバージョンアップの確認方法

fidata に収納された 11.2MHzDSD 音源を使用して DSDdirect の音質を確認します。使用した音源はステレオサウンド社から BD-ROM により提供された、次のような 11.2MHz DSD 音源です。これらの詳細は[ディスコグラフィー](#)のページで紹介しています。

2017No.74	チャイコフスキー他	くるみ割り人形(抜粋) 他	エルネスト・アンセルメ指揮コヴェントガーデン王立歌劇場管弦楽団
2017No.75	グスターヴ・ホルスト	組曲《惑星》	ズービン・メータ指揮ロスアンゼルスフィルハーモニー管弦楽団
2017No.76	ヨハン・セバスティアン・バッハ	無伴奏チェロ組曲	ヤーノシュ・シュタルケル
2017No.79	イーゴリ・ストラヴィンスキー	バレエ《春の祭典》	ゲオルグ・ショルティ指揮シカゴ交響楽団
2017No.80	アントニン・ドヴォルザーク	交響曲第 9 番亦短調新世界より》	イシュトヴァン・ケルテス指揮ウィーンフィルハーモニー管弦楽団
2017No.81	イーゴリ・ストラヴィンスキー	バレエ《ペトルーシユカ》	エルネスト・アンセルメ指揮スイス・ロマンダ管弦楽団

また、e-onkyo や DSDNative その他のサイトなどからダウンロードした 11.2MHz DSD 音源もいくつか再生し、これらの音質を確認しました。

3. ファームウェアと fidata Music アプリのバージョンアップの確認結果

ファームウェアのバージョンアップ前の DoP 再生の音質と 1 : 1 同時比較はできませんが、記憶を辿っての比較となります。

いずれの音源でも、ファームウェアのバージョンアップ前に比べて、一段と透明感が向上しているように聴こえます。

ステレオサウンド社の 11.2MHz DSD 音源は、アナログマスター由来ですので、アナログのようなダイレクト感が感じられます。

DSD の生録音源は、DSD らしい肌理の細かい繊細感があります。
同じくダウンロード音源ですが、リヒテルとラインスドルフ指揮のブラームスのピアノ協奏曲 1 番なども、アナログマスターらしく、ステレオサウンドの音源と同様、以前の印象とは変わってきています。
上記のいずれも再生中は、iPad の **fidata Music** アプリ画面の下欄中央に【DSD 11.2MHz 1bit】が表示されます。

4. まとめ

ファームウェアのバージョンアップの音質の確認が取れました。

以上